

関係機関の施策・研究の連携のための令和4年度予算について、下記の通り検討を進めている。

■ 令和3年4月～ 関係機関による概算要求内容の検討

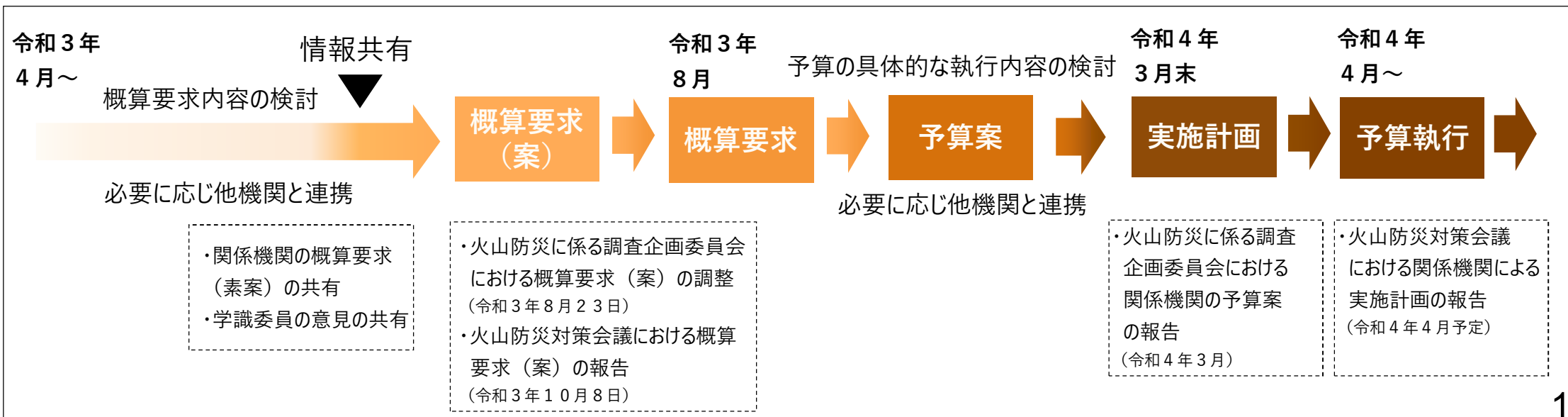
- ・事務局は、関係機関の令和4年度概算要求（素案）の内容をとりまとめ、関係機関に共有。（7月下旬）
- ・事務局は、関係機関の概算要求（素案）の内容について、関係機関の施策・研究の連携の観点から、学識委員から意見を聴取し、それらの意見を関係機関に共有。（7月下旬～8月上旬）
- ・関係機関は、他機関の概算要求（素案）や委員意見を踏まえ、必要に応じ、他機関と連携しつつ、概算要求（案）の内容について検討。

■ 令和3年8月～ 概算要求、予算案の決定及び関係機関による実施計画の検討

- ・事務局は、関係機関の令和4年度予算案の内容をとりまとめ、関係機関や委員に共有。（令和4年3月）
- ・関係機関は、令和4年度予算の具体的な執行内容を検討。（～令和4年3月）
- ・火山防災に係る調査企画委員会において、関係機関の予算案を報告。（令和4年3月）

■ 令和4年4月～ 予算執行

- ・火山防災対策会議において、関係機関による実施計画を報告。（令和4年4月予定）



関係機関の要求内容について、施策・研究の連携のための調整を実施し、観測点整備や研究について重複がないことを確認した。

## ■ 観測点の整備・更新

関係機関の令和4年度における観測点の整備・更新予定について確認 (参考資料1)

- ✓ 気象庁：総合観測点、機動観測機器等の更新を予定
- ✓ 国土交通省水管理・国土保全局砂防部：土砂災害対策（溪流監視）のための観測施設の更新を予定

→ 関係機関の要求内容において、**観測点整備に重複がないことを確認**

観測点整備の連携やデータ共有に向けた関係機関の今後の取組について調整

- ✓ 気象庁は、観測データの一次処理結果の共有について、防災科学技術研究所と引き続き検討を進めていく。
- ✓ 気象庁は、火山噴火予知連絡会や火山防災協議会等を通じて、常時観測火山の観測点の整備予定を共有し、関係機関の役割を踏まえながら連携して整備を図る。
- ✓ 国土交通省水管理・国土保全局砂防部は、火山防災協議会などを通じた土砂災害対策の実施予定等の情報提供を進める。

→ 観測のさらなる連携に向けて、**関係機関が取り組む内容を確認**

## ■ 研究

複数の関係機関が推進している研究について、研究の目的、内容、性格※等、様々な角度から確認

※開発研究（10年程度で実装見込み）と応用研究（10年程度で開発研究に移行見込み）が存在

- ✓ 「**火山灰に関する研究**」...関係機関がそれぞれの役割や目的に応じて、降灰分布の予測や、火山灰の分析による噴火推移予測の研究を推進。降灰予測については異なる使用機器を用いて異なる手法で研究を推進。（参考資料1）
- ✓ 「**溶岩流・火砕流のシミュレーション研究**」...それぞれのシミュレーション研究について、異なる手法を用いて、火山災害の影響範囲を予測するシミュレーション研究を推進。（参考資料2）
- ✓ 「**火山ガスに関する研究**」...関係機関が連携し、観測や研究を推進。

→ 関係機関の要求内容において、**研究の重複がないことを確認**

# 施策・研究の連携のために確認した関係機関が取り組む内容の取組状況

機関名	取り組むとした内容	取組状況
気象庁	観測データの一次処理結果の共有について、防災科学技術研究所と引き続き検討を進めていく。	観測データの共有について、JVNDシステムを活用したデータ共有体制の構築に向け、防災科学技術研究所と提供フォーマットの確認等の検討を継続して実施するとともに、一部過去データを提供した。
	火山噴火予知連絡会や火山防災協議会等を通じて、常時観測火山の観測点の整備予定を共有し、関係機関の役割を踏まえながら連携して整備を図る。	令和4年度における観測点整備については、令和3年度補正予算により、老朽化した総合観測点3点及び火口カメラ1点の更新を行うこととしており、必要に応じ関係機関への説明を実施。
国土交通省	火山防災協議会などを通じた土砂災害対策の実施予定等の情報提供を進める。	土砂災害対策の実施予定等については、必要に応じ担当地方整備局や事務所から、火山防災協議会などを通じ、関係機関へ情報提供を実施。 また、地方整備局等の担当者に対し、会議等の場で上記の内容について周知。